

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(2018年3月実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	1	パーティションで区切ったり、活動が重ならないように工夫している。空いているときは広い部屋などを借りて活動している。
	②	職員配置数は適切であるか	3	1	2	専門職などの他スタッフに入ってもらっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		トイレは広さはあるが、車いすが中まで入らない。補助便座など使用している。誰でもトイレはあるが、放デイの活動場には車椅子トイレがない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	3	3		
	⑤	保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		アンケート結果に対する改善案などスタッフで話し合っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	4		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	3	3		研修はあるがなかなか参加出来ていない。業務に追われ休みを使ってまで行く気になれていない。
適切な支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			計画は複数のスタッフで話し合い、作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	1	若干使い辛い。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	活動の担当分けをしているが、任せっきりになってしまうことがある。複数のスタッフで相談して決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			どの曜日でも毎回同じプログラムにならないように活動を設定している。積み重ねを目的に同じ活動を何回か行うこともあるが、なるべく色々な活動内容を設定している。平日、休日と内容を変えている。活動についても月案を作成し、季節に合った活動などを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	4	2		きめ細かに設定は出来ていないが、平日では出来ない活動を土曜、長期休暇に取り入れている。

の提供	⑭	子どもの状況の応じて、個別活動と集団活動と適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		毎朝ミーティングを行い、前日の特記などを確認している。 打合せは出来ているが、支援の内容までは話せていない。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、気付いた点等を共有しているか	5	1		支援に繋がるような振り返りは出来ていない。 休みのときは振り返りを記録で読む。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		一人ひとりの個別支援計画をスタッフ間で共有し、それにそった記録の取り方を心掛けたい。 支援計画にそった記録にしている。 個別支援の振り返りがし辛く、記録も多く日記的。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	1	現在は常勤が出席している。
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2		学校とのやり取りはあまり出来ていない。保護者には行事予定の提出をお願いしたり、連絡帳や電話にて送迎時間変更のやり取りをしている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3		対象児いない。 保護者に詳しく聞き、対応している。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	2	ゆめなりあの子発利用児に関しては情報共有は出来ている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	まだ対象児がいない
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	年6回SVから助言を受けている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	地域のお祭りに参加し、交流の機会を設けている。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	2	
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		1	日常的には連絡帳や電話のやり取りや個別面談でお子さんの情報を共有している。	

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっているか	2	3	1	
保護者等への説明責等	㉑	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に行っている。
	㉒	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しているか	4	2		
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
	㉖	個人情報に十分注意しているか	6			
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待しり等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	区民祭りに参加し、児童の作品を展示した。施設主催の行事は行っていない。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		児童発達支援事業と合同で行っている。
㉛		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		法人全体会議で行っている。
㉜		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4	2	施錠を当たり前に行っている時、必要だとは思いますが時々大丈夫かと不安になることもある。
㉝		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4		対象児がいない。
㉞		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		インシデントなど日頃出たものは記入している。